# 操作手順書

# 1. 概要

本作品はモンテカルロパストレーシングベースの簡易レンダラとなります

#### 2.特徵

- ・物理ベースの照明計算 拡散/鏡面反射項
- ・簡易レンズシミュレーション 35mm 判フィルム換算 被写界深度
- ・kd 木による高速化
- ・マルチスレッドによる高速化
- ・3ds ファイルのインポート
- ・外部設定ファイルのインポート

# 3. 開発環境

OS: WindowsXP(SP3)

CPU: Intel Core2 6600@ 2.40GHz

Mem: 2.00GB

Microsoft Visual Studio 2005

# 4.ファイル構成

Renderer.exe ... 実行ファイル(CUI)

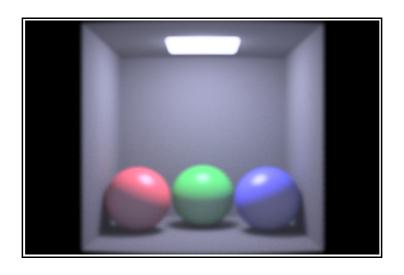
environment.ods ... 外部設定ファイル(OpenOfficeCalc)

env.dat ... 外部設定ファイルから出力される環境データ

lig.dat ... 外部設定ファイルから出力される光源データ

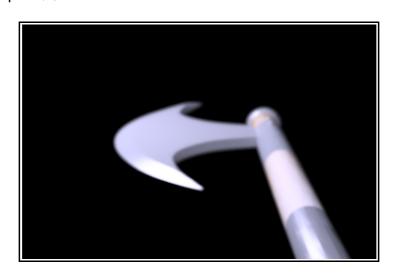
# 5. 実行方法

**1.** リファレンスシーン コマンドプロンプトより Renderer.exe を実行 Result.bmp が出力



### 2. 任意シーン

**4.**ファイル構成の同フォルダ内に \*.3ds を配置 コマンドプロンプトより Renderer.exe \*.3ds を実行 \*.bmp が出力



# 6. 設定ファイル

#### 1.環境設定

	A	В		С
1	環境設定	環境ファイル出力		
2	12			(6
3	出力画面幅	Decimal		360
4	出力画面高さ	Decimal		240
5	背景色	Color	•	0,0,0
6	最大深度	Decimal		10
7	サンブリング数	Decimal		10000
8	kd 木の最大深度	Decimal	•	5
9	焦点距離	Real		0.05000
10	F 値	Real		2.80000
11	ビント位置	Real	•	1.00000
12	自動視点設定	Bool		TRUE
13	視点	Vector		0,1,-3
14	注視点	Vector		0,0,0
15				

出力画面幅(整数値) 出力画面高さ(整数値)

背景色(r, g, b 浮動少数点)

最大深度(1以上の整数値)

1次光線を含む最追跡回数

サンプリング数(1以上の整数値)

1画素あたりのサンプル回数

kd 木の最大深度(0以上の整数値)

kd 木の分割数

焦点距離(浮動小数点)

35mm 判フィルム換算指定(画角にも影響)

F值(浮動小数点)

被写界深度に影響

ピント位置(浮動小数点)

マニュアルフォーカスによる合焦距離 被写界深度に影響

自動視点設定(論理値)

有効の場合、自動的に視点の位置が計算される 無効の場合、下記視点/注視点で設定を行う

<u>視点(x, y, z 浮動少数点)</u>

注視点(x, y, z 浮動少数点)

環境ファイル出力ボタン押し下げで env.dat を出力

### 2.光源設定

	А	В	С	D	E	F
1	光	源	設定	光源設定ファイル出力		
2	10					
3		No	タイプ	位置	姿勢	強度
4	V	1	Point 💌	-1,1.5,0	45,0,0	100,100,100
5		2	Point 🔻	0,0,0	0,0,0	0,0,0
6		3	Point 💌	0,0,0	0,0,0	0,0,0
7		4	Point 💌	0,0,0	0,0,0	0,0,0
8		5	Point 💌	0,0,0	0,0,0	0,0,0
9		6	Point 💌	0,0,0	0,0,0	0,0,0
10		7	Point	0,0,0	0,0,0	0,0,0
11		8	Point 💌	0,0,0	0,0,0	0,0,0
12		9	Point 💌	0,0,0	0,0,0	0,0,0
13		10	Point 🔻	0,0,0	0,0,0	0,0,0
14					NAT-PER	

#### A列チェックボックス

各光源の有効/無効化の設定

#### タイプ

光源の種類で点光源、平行光源から選択可能

#### 位置(x, y, z 浮動小数点)

光源の位置 \* 点光源時のみ有効

<u>姿勢(x, y, z 浮動小数点)</u> 光源の向き \* 平行光源時のみ有効

Degree で指定

#### 強度(r, g, b 浮動小数点)

光源の強度

0.0以上の任意の指定

光源設定ファイル出力ボタン押し下げでlig.dat を出力